

香川県の地震

令和6年（2024年）8月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	2
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	3

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和6年（2024年）9月6日）

・・・ 4

地震一口メモ

令和6年8月8日の日向灘の地震について

・・・ 5～6

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

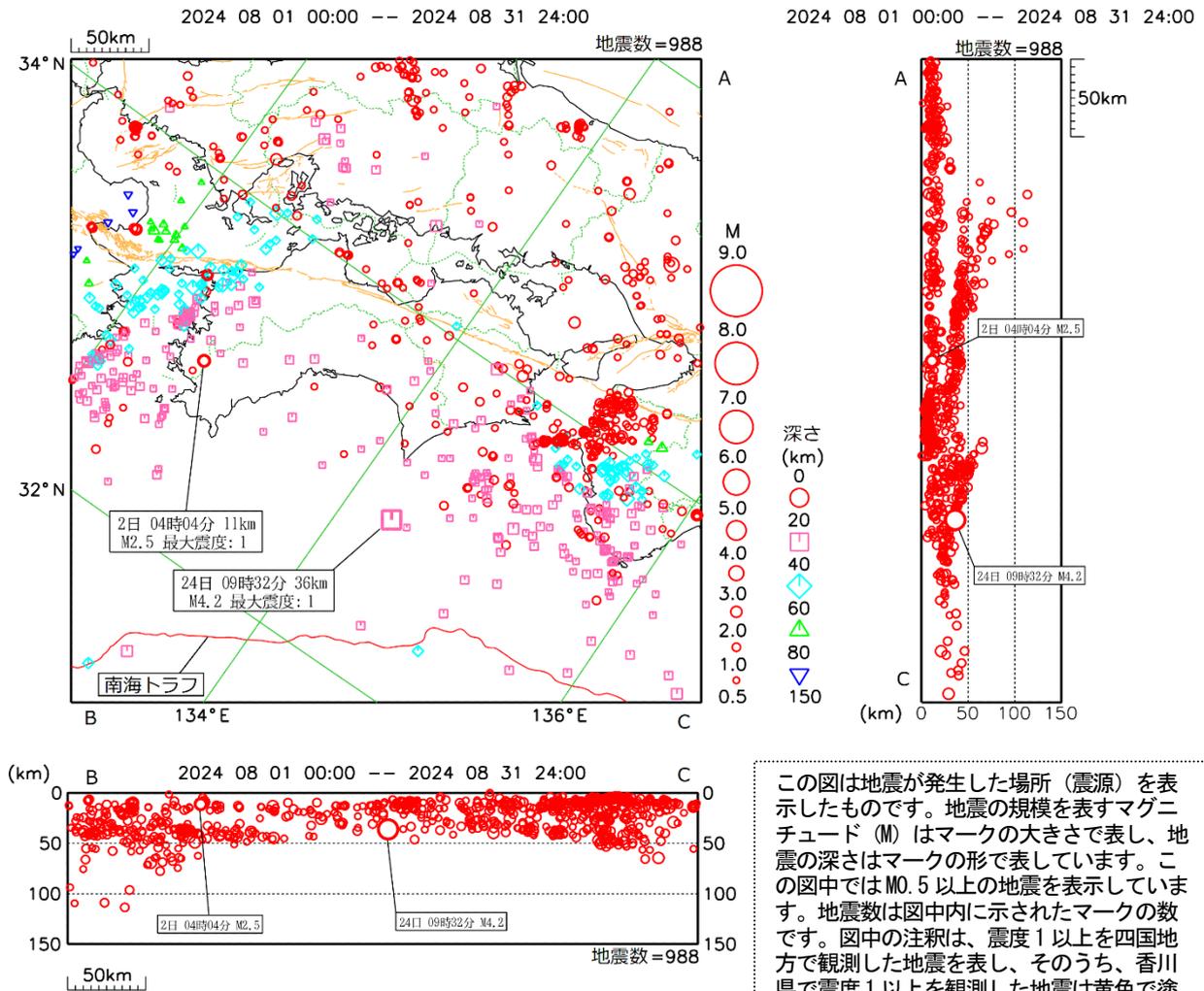
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2024年8月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は1回）。

8日16時42分 日向灘の地震（深さ31km、M7.1；震央分布図地図範囲外）により、高松市・土庄町・坂出市・観音寺市・多度津町・三豊市・まんのう町で震度2、東かがわ市・丸亀市で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5強～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の3回でした。

2日04時04分 愛媛県南予の地震（深さ11km、M2.5）により、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

9日04時23分 日向灘の地震（深さ26km、M5.4；震央分布図地図範囲外）により、愛媛県八幡浜市・伊方町・西予市で震度2、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市・黒潮町で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県高鍋町・新富町・川南町・宮崎市・日南市・串間市・国富町・都城市・三股町で震度3を観測したほか、近畿・中国・九州地方にかけて震度2～1を観測しました。

24日09時32分 四国沖の地震（深さ36km、M4.2）により、高知県室戸市で震度1を観測しました。

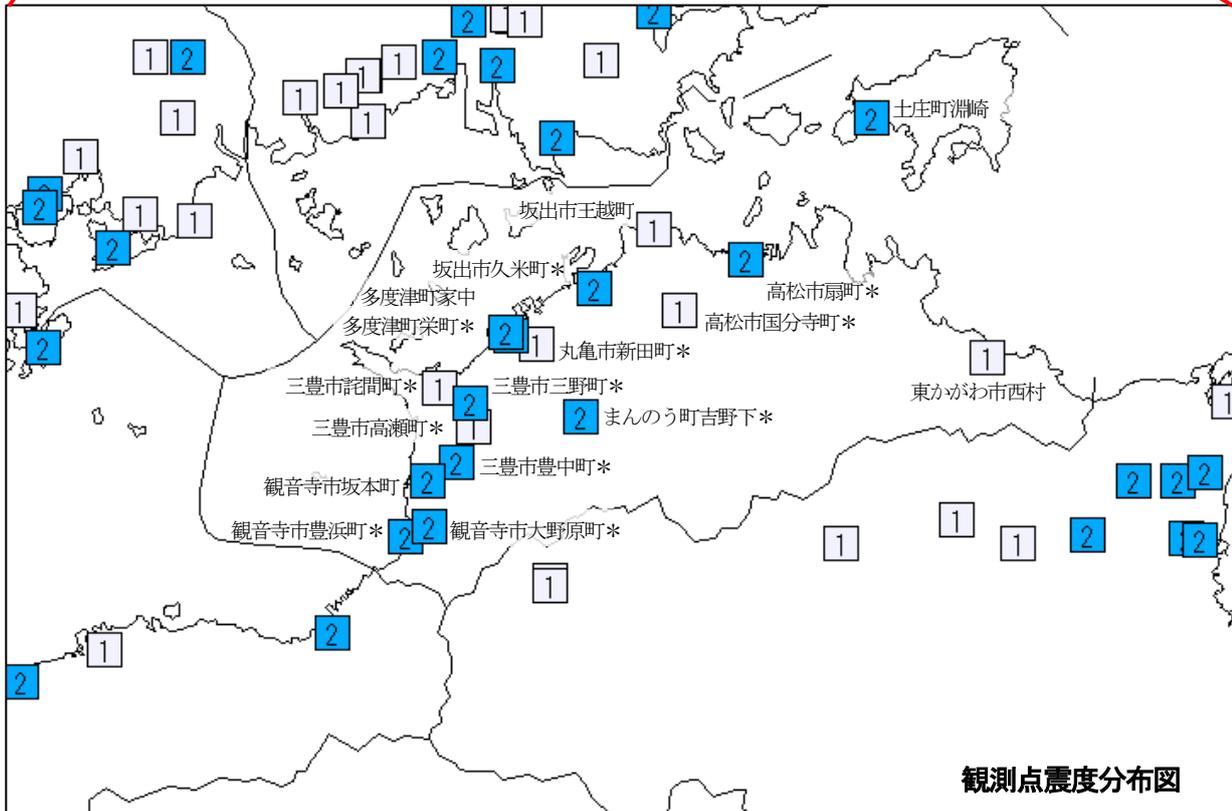
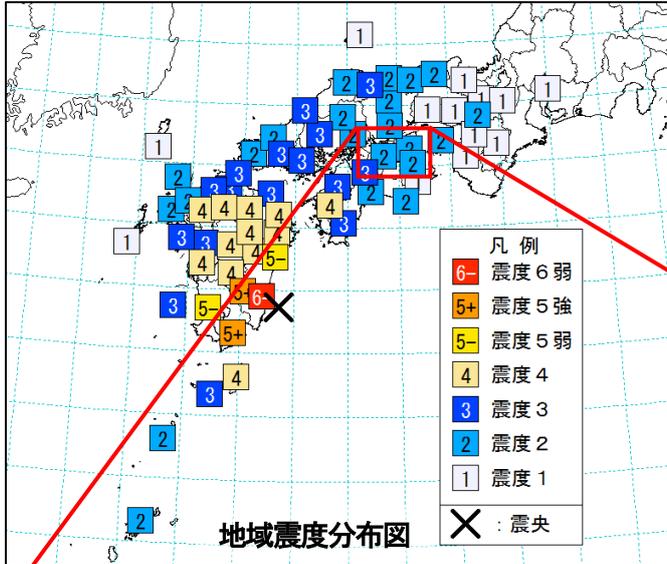
◎香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年08月08日16時42分 香川県 震度 2： 震度 1：	日向灘	31° 44.2' N	131° 43.3' E	31km	M7.1

*は気象庁以外の震度観測点

◎震度分布図

2024年08月08日16時42分 日向灘の地震



* は気象庁以外の震度観測点

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

令和6年(2024年)9月6日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

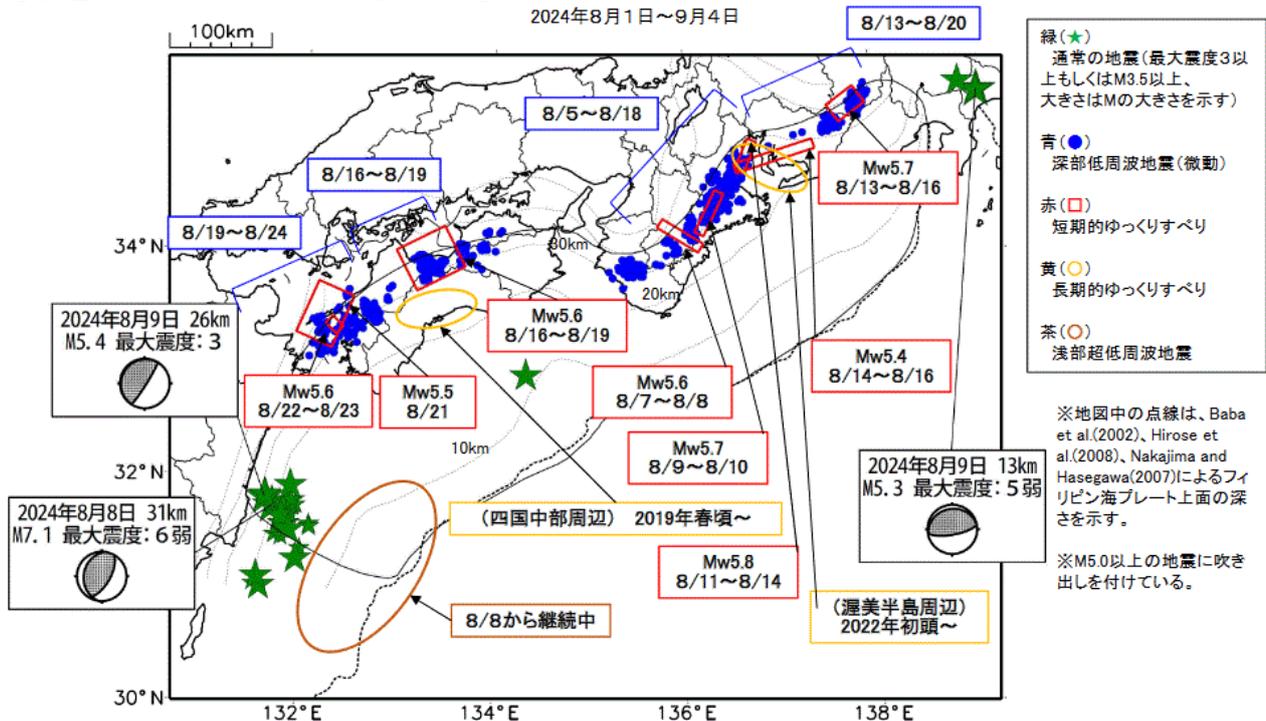
【調査結果 (概要)】

8月8日16時42分に日向灘を震源とするマグニチュード7.1(モーメントマグニチュード7.0)の地震が発生しました。この地震により、南海トラフ地震の想定震源域では、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まりましたが、その後、時間を経るにつれて低下してきたと考えられます。

現在のところ、プレート境界の固着状況に通常とは異なる特段の変化を示すような地震活動や地殻変動は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり……………【東海】気象庁及び産業技術総合研究所の解析結果を示す。【四国中部】気象庁の解析結果を示す。
……………【紀伊半島北部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり……………【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。
浅部超低周波地震……………【日向灘及びその周辺域】防災科学技術研究所の解析結果を元活動期間及びおおよその場所を表示している。

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、気象庁作成プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2409/06a/nt20240906.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

令和6年8月8日の日向灘の地震について

2024年8月8日16時42分、宮崎市の東南東30km付近の日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生し、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測しました。この地震では四国でも、愛媛県伊方町で震度4を観測、香川県内では高松市・土庄町・坂出市・観音寺市・多度津町・三豊市・まんのう町で震度2を、東かがわ市・丸亀市で震度1を観測しました（図1）。この地震は陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生し、震源の深さは31kmでした。

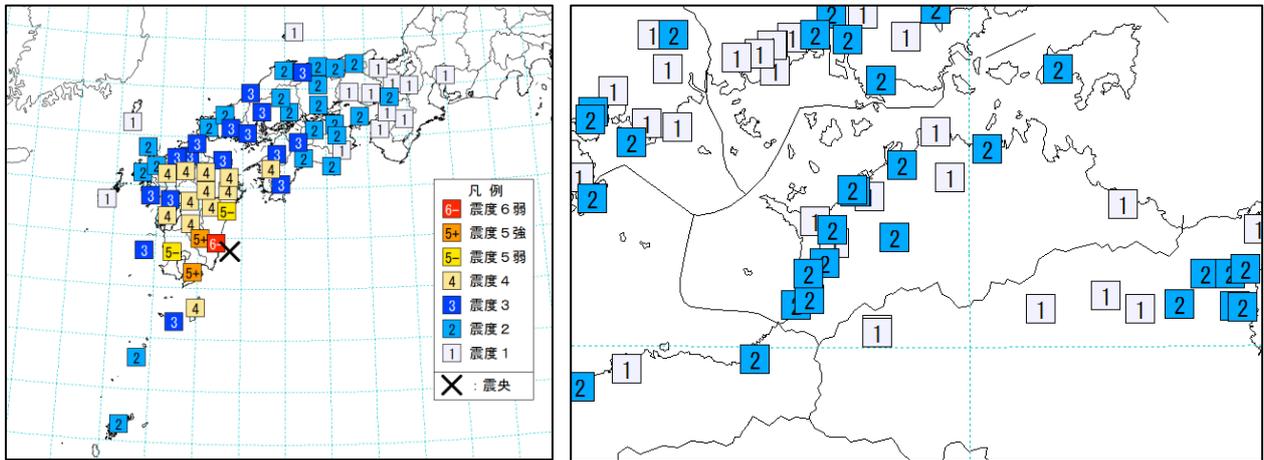


図1 令和6年8月8日16時42分の日向灘の地震 震度分布図

この地震では、長周期地震動階級3の揺れを、宮崎県南部山沿い地方で観測しました（図2）。またこの地震に伴い、愛媛県宇和海沿岸、高知県、大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方に津波注意報を発表しました。四国では徳島県と愛媛県瀬戸内海沿岸に津波予報（若干の海面変動）を発表しました（図3）。

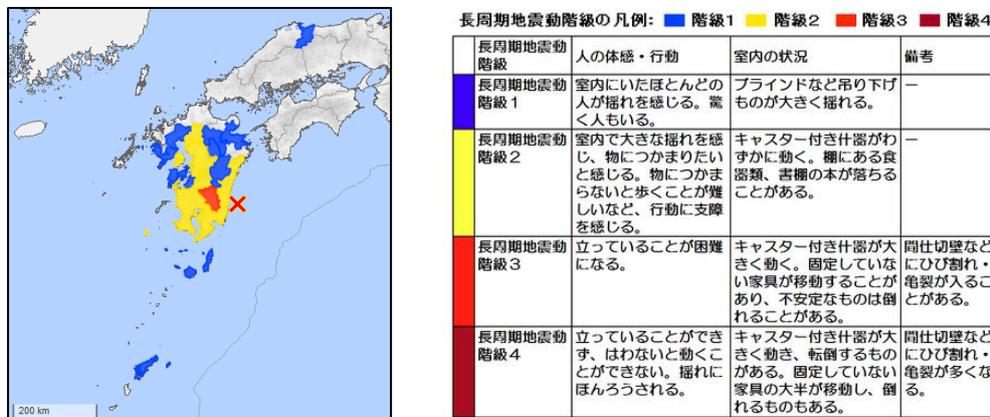


図2 令和6年8月8日16時42分の日向灘の地震 長周期地震動の観測状況

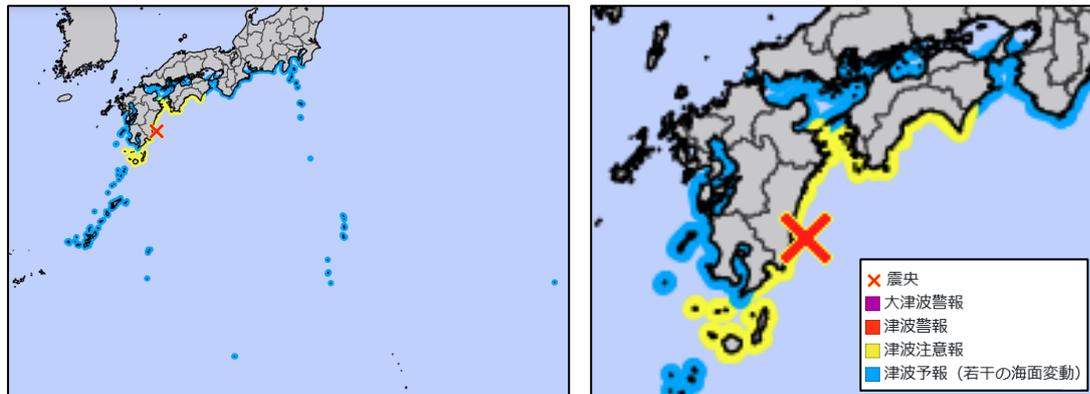


図3 令和6年8月8日16時42分の日向灘の地震 津波注意報等の発表状況

この地震は、地震の規模がM6.8よりも大きく、南海トラフ地震の想定震源域内の西端付近で発生したため、気象庁は8日17時00分に南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表して、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会（以下、評価検討会と記載）を開催しました。

評価検討会は、この地震について「西北西・東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型（図4 中左図）で、南海トラフ地震の想定震源域内における陸のプレートとフィリピン海プレートの境界の一部がずれ動いたことにより発生したモーメントマグニチュード7.0の地震」と評価しました。この評価結果を受けて気象庁は、8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表し、南海トラフ想定震源域で大規模地震が発生する可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられることをお知らせして、南海トラフ地震防災対策推進地域に対して、地震や津波への備えを確認していただくよう、促しました。

四国地方では、すべての市町村が南海トラフ地震防災対策推進地域^(※)に指定されています。

(※) 内閣府ホームページ 南海トラフ地震防災対策推進地域の指定

https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/nankaitrough_chizu.pdf

8日の地震発生後、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すような地震活動や、地殻変動が観測されないまま、地震の発生から1週間が経過しました。このことから15日17時をもって南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表に伴う政府としての「特別な注意の呼びかけ」を終了しています。

日向灘の地震活動は地震発生当初は活発でしたが、時間の経過とともに低下しています。しかし平常時よりも地震が多い状況は継続しており（図4）、現状程度の地震活動は当分続くと考えられます。

南海トラフ沿いでは、いつ大規模地震が発生してもおかしくないことに留意し「日頃からの地震への備え」を引き続き実施してください。

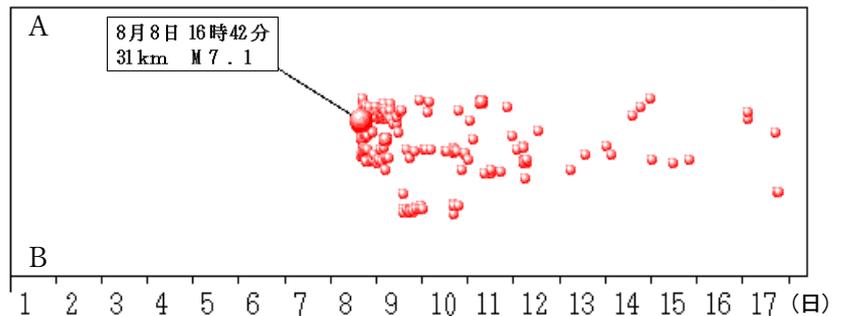
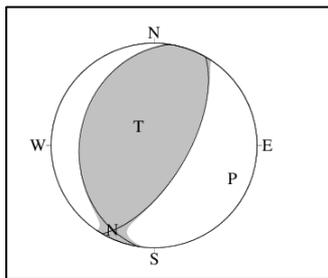
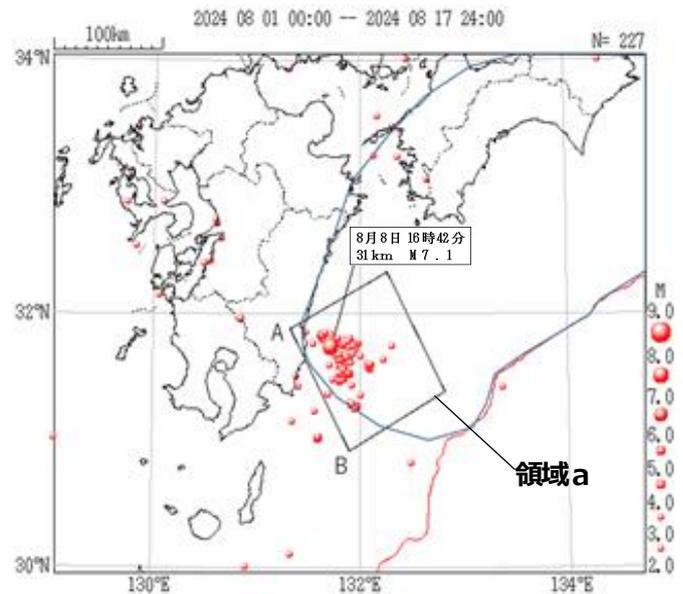


図4 令和6年8月8日16時42分の日向灘の地震

上図 震央分布図 青線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域

中左図 発震機構解（令和6年8月8日16時42分の日向灘の地震）

中右図 領域a内の時空間分布図（A-B投影、横の目盛りは2024年8月の日付を表す）

下図 領域aで発生した地震の地震活動経過図（縦の目盛りはマグニチュード、横の目盛りは2024年8月の日付を表す）

